JMU ジャパン マリンユナイテッド 株式会社

2026 年 11 月 26 日
No. 2026-025

# 8,900TEU 型コンテナ船“MAERSK TORONTO”引渡

ジャパン マリンユナイテッド株式会社(本社：神奈川県横浜市、社長：廣瀬　崇)は、11 月 26 日(木)、呉事業所(広島県呉市)にて建造していた 8,900TEU 型コンテナ船“MAERSK TORONTO”(マースク　トロント)を引渡しました。

【本船概要】
主要寸法　：　全長 276.94 m x 幅 45.80 m x 深さ 24.40 m x 喫水 15.50 m
総トン数　：　85,294
主 機 関　：　MITSUI-Everllence B&W 6G80ME-C10.5-LGIM-EGRTC x 1 基
定　　員　：　30 名
船　　級　：　NK
船　　籍　：　Singapore

【特徴】
・8,000TEU 超のコンテナ船として国内で初めてである、メタノールと重油の両方を燃料として使用できるメタノール二元燃料焚きコンテナ船です。
・Two-Island 型（前後分離配置）の居住区を採用し、居住区下のスペースを利用することで、貨物艙（カーゴホールド）を犠牲にすることなく大容量のメタノール燃料タンクを配置。これにより、貨物艙に積載できるコンテナ個数を従来の重油焚き船と同等に維持しています。
・４段ラッシングブリッジの採用により、デッキ上最大 11 段のコンテナ積載が可能です。さらに Two-Island 型居住区と組み合わせることで、コンテナ積み個数の大幅な増加を実現しています。
・最新の解析技術により、運航頻度の高い船速・喫水に合わせて高効率を追求した最適船型を開発し、併せて弊社独自の省エネデバイスである SURF-BULB®、Twisted Rupas®舵、さらには実海域での波浪中抵抗増加低減を図った船首形状を採用するなど、8,900TEU 型としては非常に高い燃費性能を実現しています。
・従来方式に比べ高効率となる永久磁石式軸発電機を採用し、航行中に主機動力を利用して船内電力を効率よく発電することで CO2 排出削減に貢献しています。
・本船の EEDI は Reference Line に対して 60%以上の削減となり、本船に課される EEDI 削減率 40%を大きく上回る削減を達成しています。
・EGCS SOx スクラバーの採用、NOx Tier Ⅲ規制への適合、有害物質一覧表の保持など各種環境規制要件に対応しています。さらに、NK EA+ Notation を取得し、荷役時にディーゼル発電機の運転停止を可能とする AMSP(Alternative Maritime Shore Power, 陸上電源供給システム)を搭載するなど、環境負荷低減を図っています。
・先進的なデジタル技術を適用した船舶に付与される NK DSS(EE2+Sn, MM, CNS, SM) Notation を取得しています。

弊社は今後も、経済性・環境性に優れたコンテナ船をはじめとした最新鋭のエコシップの開発・建造に努めてまいります。


MAERSK
ALL THE WAY TO ZERO